

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公開番号】特開2012-102872(P2012-102872A)

【公開日】平成24年5月31日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2011-239847(P2011-239847)

【国際特許分類】

F 1 6 J 15/447 (2006.01)

F 0 1 D 11/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 J 15/447

F 0 1 D 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月29日 (2014.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転機械（100）の第1の部品（110）と第2の部品（120）の間で使用するシール組立体（130）であって、当該シール組立体（130）が、

軸方向に雌形部材（285）を形成する第1の傾斜表面（280）を備えた第1の端部（230）を有する第1のシールセグメント（250）と、

軸方向に前記雌形部材（285）と嵌合するように構成された雄形部材（295）を形成する第2の傾斜表面（290）を備えた第2の端部（240）を有する第2のシールセグメント（260）と、

前記第1のシールセグメント（250）および前記第2のシールセグメント（260）から延在する複数のシール歯（170）と、

前記複数のシール歯の周りを、前記第1のシールセグメント（250）および前記第2のシールセグメント（260）から延在するブラシシール（390）と、

を備え、

前記第1のシールセグメント（250）の前記雌形部材（285）と、前記第2のシールセグメント（260）の前記雄形部材（295）とが連帯して、前記複数のシール歯のうちの少なくとも1つを形成し、

第1のシールセグメント（250）の第1の端部（230）の第1の傾斜表面（280）が、半径方向シールポイント（300）から軸方向シールポイント（310）まで軸方向に延在する継手（270）において、第2のシールセグメント（260）の第2の端部（240）の第2の傾斜表面（290）と接触する、シール組立体（130）。

【請求項 2】

第1のシールセグメント（250）が、第1のセグメント第2の傾斜表面（290）を備えた第1のセグメント第2の端部（240）を含む、請求項1に記載のシール組立体（130）。

【請求項 3】

第2のシールセグメント（260）が、第2のセグメント第1の傾斜表面（280）を

備えた第２のセグメント第１の端部（２３０）を含む、請求項１に記載のシール組立体（１３０）。

【請求項４】

複数のシールセグメント（１５０）をさらに含む、請求項１に記載のシール組立体（１３０）。

【請求項５】

前記複数のシールセグメント（１５０）が、一对の位置決めフランジ（１８０）及びネック部（１９０）を含む、請求項４に記載のシール組立体（１３０）。

【請求項６】

第１の傾斜表面（２８０）及び第２の傾斜表面（２９０）が、第１のシールセグメント（２５０）及び第２のシールセグメント（２６０）間で分割された歯（１７０）に沿って延在する、請求項１に記載のシール組立体（１３０）。

【請求項７】

前記継手（２７０）が、第１のシールセグメント（２５０）及び第２のシールセグメント（２６０）の高圧側（３５）から低圧側（４０）に延在する、請求項１に記載のシール組立体（１３０）。